

中西崇の協力を得た。
、著作権法上の例外を除き、本文・図表・写真・翻刻文・解説の「転載」「翻案」等二次利用については、必ず日野市を通じて関係者の許可を得られたい。著作権法で許される「引用」であっても、執筆者・作成者・撮影者の氏名、および書名・発行人・発行年を明記されたい。

目次

ごあいさつ	日野市長 馬場弘融	i
監修の辞	宮地正人	ii
展示の学術性と音楽の抒情性／アンビバレントへの挑戦	藤田 勉	iv
例言		v
I 新選組のふるさと日野		1
多摩の開発と草分百姓／豪農の登場／多摩の文化人ネットワーク		1
甲州道中と宿場町		1
II 八王子千人同心と日野		4
八王子千人同心／八王子千人同心と新選組		4
III 天然理心流と多摩		6
天然理心流の広がり／増田・松崎系の隆盛／百姓への剣術指南		6
豪農たちの支援		6
IV 日野人、京都へ		8
水戸浪士―草莽のさきがけ―／桜田門外の変の衝撃／尊攘の志士		8
清河八郎／同志に支援され、変幻自在に逃亡／再会した実母、拷問される／幕府へ浪士組を提案／清河の自活稼業／天誅の嵐吹く		8
京都／浪士組設立／壬生浪士組から新選組へ―芹沢・近藤らの分離―／浪士組・新選組・新徴組		8
V 新選組 京都の日々		15
さまざまの壬生浪士／「都」の敷居の高さ／壬生出身、山崎丞／兵は東国に限る／八月十八日の政変／純化した新選組へ／池田屋事件／池田屋事件とその波紋／新選組の創立八人組／京都市中警邏在京諸藩士の挑発と衝突／京都における新選組の評判／新選組の武術と武器／新選組の鉄砲・大砲／会津藩のための金策／禄位辞退から幕臣へ／新選組の会計／死さざれば脱退するを得ず／		15
VI 新選組 戊辰戦争のなかで		32
データから見た新選組の変質／鳥羽・伏見の戦／江戸帰府と多摩郷党との再会／旧幕府幹部の思惑／五兵衛新田の屯所／近藤勇の逮捕・処刑／宇都宮戦争／奥羽越列藩同盟のなかで／長岡城の攻防戦／隊長山口二郎（斎藤一）立つ／白河戦争、母成峠の敗走／土方歳三、仙台で総督に推挙／仙台から箱館へ／土方歳三の任務箱館臨時政府の樹立／歳三、箱館に散る／隊長相馬主殿、降伏する		32
維新変革の精神		32
VII 戊辰戦争と日野		45
江川代官所の指示／鉄砲隊の編成と訓練／慶応二年武州一揆／鎮庄に出動／新選組の再編と郷党の対応／隊長大久保剛、そして内藤軍人／日野宿と春日隊／柏尾の敗戦／日野宿の混乱、新政府軍の進軍		45
VIII 新選組 その後		53
データから見た新選組の箱館降伏者／新選組の処分／新島流罪となった相馬主殿／「勝者」の論理による裁き／「敗者」の論理と多摩の機運／下級武士の転身、元新選組隊士という過去／元新選組隊士その後／多摩出身の隊士		53
IX 新徴組と日野		59
浪士組隊士、帰国途上の甲州で追加募集／帰府浪士組の宿営先／浪士屋敷の変遷／攘夷計画と清河八郎暗殺 三笠町御用屋敷の抱		59
陣／新徴組誕生／データから見た実像／下級幕臣、格式は小普請方伊賀者次席／江戸市中見廻り―恐るべきは新徴組なり―／新徴組、庄内藩へすべて委任／綱紀肅正と新徴法令／竊木坂屋敷と庄内藩上への移籍／逸脱する隊士／薩摩藩邸焼き討ち事件／新徴		59
XI 新選組とは何だったのか		91
清河八郎・山岡鉄舟がいなかったら、新選組はありえなかった／新選組・新徴組の歴史的役割		91
附録 新選組・新徴組年表		93
X 明治維新と近代の日野		87
新政府軍の日野進攻／日野宿農兵隊の解体／もたらされた情報―土方歳三の最期―／「御一新」のはざま／新政府の政略／多摩の政治環境／新政批判から自由民権へ／民権運動の転機と政府の弾圧		87
諸史料に見える新徴組の風説		74
浪士組の強談／浪士組の悪い噂／清河八郎の風聞／清河暗殺の風説／浪士組隊士の捕縛／炎上する西之丸の防火出動／新徴組への張訴／新徴組小頭祐天仙之助の正体／小頭は甲州侠客／仇討ちの真相／祐天の生い立ち／親分として売り出す／検使と遺恨／大名預とその後／新徴組隊士、実は肴屋の兼業／捕えてみたら飯野藩士／熊本藩邸を強請る隊士／隊士の乱心事件―切腹すれば御家は存続―／旗本を斬り捨て、隊士も詰腹／相次ぐ自殺と刃傷事件／隊士の遭難事件／薩摩藩邸焼き討ち事件		74
組、庄内へ帰国／庄内戦争と新徴組／分部宗右衛門、御家中組・代官となる／松ヶ岡の開墾事業／元新徴組隊士のその後―日野の出身者たち―／旧新徴士会と清河八郎顕彰運動		74